

令和8年度鹿児島県災害時小児・周産期医療研修会実施要領

1 目的

災害時における小児・周産期医療体制を強化するため、小児・周産期医療関係者等の災害医療に対する知識の向上及び「災害時小児周産期リエゾン」の役割等の周知を図る。

2 日時

令和8年6月26日（金）18：00～20：00

3 場所

鹿児島県医師会館3階 中ホール1（鹿児島市中央町8-1）

4 開催方法

対面及びWeb併用のハイブリッド形式

5 対象者

小児・周産期医療関係者、災害医療関係者、行政関係者 など

（医師、看護師、助産師などの医療職種に加え、事務スタッフの方もぜひご参加ください。）

6 内容及び講師等

時間		内容	講師等
18:00～18:05	(5)	開会	県子育て支援課
18:05～18:30	(25)	① 災害医療体制について（仮）	鹿児島大学病院救命救急センター センター長 新山 修平 先生 （県災害医療コーディネーター）
18:35～19:05	(30)	② 災害時小児周産期リエゾンの 概要とアップデート（仮）	国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局 ブロック担当第一課長 上杉 泰隆 先生
19:10～19:40	(30)	③ こどもたちと家族の”いつも”を 守るために私たちにできること	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター 救急科 今井 一徳 先生
19:45～19:55	(10)	④ 8.8大雨災害を経験して ～つながることの大切さと今後の 課題～	訪問看護ステーションめばえ 看護師 有馬 夕子 先生